

ゆいのきっこ

ゆ 夢をもち り 理想に向かって の 伸びやかに き 毅然と進む ゆいのきっこ



庄内小学校通信

第4号

2026年5月13日



遠足に行ってきました!!

5月8日(金)に、「鈴鹿フラワーパーク」へ遠足に行ってきました。当初は5月1日(金)を予定していましたが、前日からの雨でこの日へ延期しての実施となりました。

当日も雨が心配されましたが、フラワーパークでは雨に降られることもなく、楽しく過ごすことができました。

保護者の皆様には、2回にわたりお弁当のご準備をしていただきましてありがとうございました。また、遠足当日も、朝早くからご準備等お世話いただきありがとうございました。



出発の様子 (1・4・6年生)



お弁当は、各学年で集まって食べました。



児童会の説明後、全校遊び「猛獣狩り」で楽しみました。

そのあと「ゆりのき班」遊びをしました。



お弁当の後は、自由遊び



帰りのバス
上：1,4,6年
下：2,3,5年



前後半の二便でバス移動しました。待っている間は、遊具で遊びました。

(写真は、2・3・5年生。1・4・6年生も最初に遊びました。)



今年度も、4月20日（月）の顔合わせを皮切りに、「ゆりのき班」活動がスタートしました。

毎週金曜日の業間休み（「ふれあいタイム」）を活用し、1～6年生のメンバーみんなで楽しめる遊びを6年生が企画し、一緒に楽しめます。

「自分も大事、そしてとなりのあの子も大事」、6年生自身も楽しめて、1～5年生の子たちも楽しめる、そして庄内小学校の

児童みんなが楽しみながらつながる、そんな素敵な時間にしてほしいと願っています。



1回目（4月20日（月））顔合わせの様子



ゆりのき班遊びの様子（左：カードゲーム 右：はないちもんめ）

校長室からのつぶやき 「未来から今を見る」～バックキャストの魔法～

先日、我が子の通う高校のPTA総会に出席し、ある言葉にハッとさせられました。それは「バックキャストアプローチで進路を考える」というお話です。

「バックキャスト」とは、現状の延長線上で未来を予測するのではなく、まず「なりたい未来」を先に描き、そこから逆算して「今、何をすべきか」を考える手法のことです。

振り返ってみれば、私自身、我が子に対して「宿題は終わったの？」「もっと勉強しなさい」と、目の前の姿にばかり気を取られ、肝心の「将来どうなりたいか」「どんな自分にワクワクするか」という対話を後回しにしていたことに気づかされました。

これは小学生にとっても同じことが言えます。

子どもたちが語る「サッカー選手になりたい」「ケーキ屋さんになりたい」といった、たわいのない夢。一見、夢物語に聞こえるかもしれませんが、しかし、その「未来のワクワク」こそが、自分の可能性を広げ、今の学びに向かう一番の原動力になります。

「どうせ無理だよ」と現実を教えるのではなく、「そのためには、今どんな力が必要かな？」と一緒に未来から逆算して考えてみる。子どもたちの無限の可能性を信じ、その背中をどう押してあげられるか。私たち大人の「向き合い方」が、子どもたちの未来をより豊かなものに変えていくのだと、改めて背筋が伸びる思いです。